

よみがえる器たち

Kintsugi

伝統とアート、
遊びどころ。

金継ぎ^{きん}工芸会展

「令和八年 小倉城庭園特別企画」



金継ぎ（きんつぎ）
青磁茶碗

2026

2・28^土

→ 5・10^日

小倉城庭園

企画展示室 北九州市小倉北区城内 1-2
TEL 093-582-2747

年中無休

2月28日～3月31日／9:00～19:00

4月1日～5月10日／9:00～20:00

主催／金継ぎ工芸会、小倉城庭園



呼継ぎ（よびつぎ）
呼継ぎ深皿

よみがえる器たち

Kintsugi

こわれた器がよみがえる

「金継ぎ」

「金継ぎ」とは天然の漆や金粉などの金属を使い、割れたり欠けたりした陶磁器を再び使えるようにする日本独自の伝統的な技術です。

金継ぎの発祥は茶の湯が盛んになった室町時代、16世紀ごろといわれています。

「金継ぎ」では元の傷を隠さず、繕ったところを「景色」と呼んで愛します。

そこには「侘びさび」の心やモノを粗末にせず再生させる精神にあふれ、SDGsにも合致しています。日本が誇る大切な文化や美意識が「金継ぎ」のなかに込められているのです。

遊びどころ満載の

「呼継ぎ」

「金継ぎ」のなかでも欠けたところにまったく別の素材を組み合わせ、ひとつの器を完成させる技法を「呼継ぎ」といいます。戦国武将も愛用した「呼継ぎ」の器も伝わるなか、古いものと新しい陶片、日本の器に海外の陶片、陶器とガラス…。さまざまな異なる素材を組み合わせることで、新たな魅力が生まれます。

伝統とアート、 遊びどころ。



呼継ぎ(よびつぎ)
唐津焼呼継ぎ茶碗
唐津焼+海揚げり染付陶片



呼継ぎ(よびつぎ)
唐津焼呼継ぎ皿
唐津焼+李朝



金継ぎ(きんつぎ)
染付茶碗 中国明時代



金継ぎ(きんつぎ)
古高取 割高台茶碗

講演会「金継ぎと自然素材」

自然素材のみで作る金継ぎの魅力や工程をわかりやすくお伝えします。

[日 時] 3月7日(土)
14:00~15:00
[会 場] 庭園研修室
[定 員] 30名
[参加費] 無料(入園料が別途必要)

ワークショップ

金継ぎ工程の要所を実際に体験し、できあがったかわいい器をおみやげに。

[日 時] 3月27日(金)・4月18日(土)
10:00~11:30
[会 場] 庭園研修室
[定 員] 各20名(中学生以上)
[参加費] 3,000円(入園料が別途必要)
庭園立礼席での茶道体験付

解説と金継ぎ教室見学会

会場の展示物で金継ぎについて解説を受け、さらに庭園研修室で金継ぎ教室を見学。

[日 時] 3月3日(火)・4月7日(火)
11:00~12:00
[会 場] 企画展示室と庭園研修室
[定 員] 各20名(中学生以上)
[参加費] 無料(入園料が別途必要)

【申し込み・お問い合わせ】
小倉城庭園 TEL 093-582-2747

詳しくはQRコードから→

